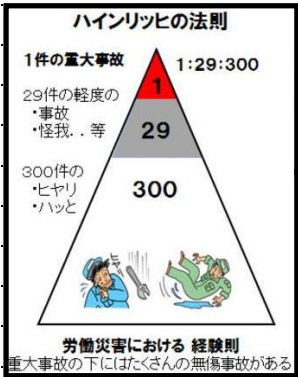


会社名： 有限会社ホリケン 第95回 勉強会・安全協議会 議事録		承認	承認	承認	承認	承認
実施年月日	2020年5月16日	進行者(責任者)		堀 峰也		
時間	18:00~19:00	議事録作成者		藤井 恭平		
場所	有限会社ホリケン 本社	出席者		別紙参照		
1、勉強会挨拶 【5分】 ●(有)ホリケン 堀 峰也 ・堀社長より コロナウイルスは現在世界的な問題だと再確認し、身近なところでも経営に影響が出てしまう会社もあると注意喚起。 報告はすぐにご報告、当日の仕事は当日に終わらすことなどの日程を守ること、これらの基本を各個人再度確認し徹底するように指示。		【緊急事態宣言】 緊急事態宣言は、諸外国で見られる「ロックダウン(都市封鎖)」ではない。 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い物、必要限度内での職場への出勤、屋外での運動や散歩の健康維持などのための外出まで自粛の対象にはなりません、人が集まれば感染のリスクは高まります。 食料品などの買い占めのような行動は控え、落ち着いた対応をお願い致します。				
2、コロナウイルスについて 【30分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成 ・新型コロナウイルス感染症にはどのように感染するかを口頭にて説明。 一般的には飛沫感染、接触感染で感染する。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがある。 【飛沫感染】 感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染する。 【接触感染】 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付着する。他の方がそのなどに触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染する。		3、ハインリッヒの法則 【20分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成 ・ハインリッヒの法則を図を使用し、口頭にて説明。 労働災害における経験則の一つ。 1つの重大事故の背景には29の軽微な事故があるとされ、さらにその背景には300のインシデントが存在するという法則。 日本では「ヒヤリハットの法則」とも呼ばれている。 重大災害の防止のためには、事故や災害の発生が予測された。ヒヤリ・ハットの段階で対処していくことが必要。				
4、ヒヤリハット報告 【5分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成 ・緊急事態では、まず何をすればよいかを口頭にて説明。 何よりも、自分自身への感染を防ぐこと、他の人に感染させないことを優先する。 不要不急の外出を避けること。「外出しなくても良いことは家で済ます」 「3つの密」を避けること。「換気の悪い密閉空間」・「多くの人が集まる密集場所」・「2m以内の距離で会話や共同行為をする密接場面」		4、ヒヤリハット報告 【5分】 ●(有)ホリケン 野口 辰成 ・各自業務中危険を感じたことや提案を勉強会・安全協議会資料下部へ記入。				



参加者氏名は、個人情報につき非表示とさせていただきます。

安全衛生協議会写真		日時	2020年5月16日
		実施会社名	㈱ホリケン
代表取締役氏名	堀 峰也	工事担当者氏名	秦 千尋

有限会社 ホリケン

1	[Redacted]
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	

